

不法投棄撲滅へ取組み

— NPO草津 —

草津市を拠点とする建設関連事業者104社でつくる特定非営利活動法人「草津の安全・福祉・災害救援活動」を推進する市内業者会（略称NPO法人草津市内業者会・理事長II森



【写真・上】作業前にあいさつする森川理事長（右から2人目）、橋川草津市長（同3人目）、北中建設部長（左端）、右端は綾城副理事長、【写真・下】集まった大量のゴミを分別し種類別に分ける会員ら

川守（株）千商代表取締役）は8日、社会貢献の一環として、不法投棄撲滅を目指し、草津市の名神高速道路側道における道路一斉清掃活動を行った。

この活動は、市民から不法投棄について多くの苦情が草津市に寄せられている現状を聞き、市民の視点に立つ市内業者会として、機動力と協調性を活かした不法投棄撲滅運動への取り組みを毎年行っているもの。

当日早朝、業者会から参加した多数の会員企業を前に、草津市から橋川渉市長と北中建設建設部長が激励に駆け付けた。橋川市長は、「今回の名神高速道路の側道は、人通りが少なく目に付かないため不法投棄物が沢山ある。大変な作業に取り組んで頂きありがたく思いますが」と感謝の言葉を述べた。また森川理事長は「この草津の良好な環境は我々

が守っていかねばならない。怪我のないよう作業をお願いしたい」とあいさつし、全員がゴミ袋とハサミを持ち作業に出発。作業ルートは、集合場所の草津市口ハ公園駐車場を出発し、市内を通過する名神高速道路高架下の両側の側道を、ロクハ池周辺に至るまでの区間。範囲が広いため参加者を4班に分け、それぞれの担当区間で側道沿いにあるトンネルや草むら、溝の中まで注意深く見回り、投げ込まれている吸い殻や空き缶、ごみ類を拾い集めた。目に付きにくい溝の中のごみが特に多く、袋が一杯になると業者会員が提供した軽トラックに次々と積み込んでいく

と、4台のトラックに山積みのごみが集まった。ごみは分別場所へ一度集め、手分けして焼却ごみ、空き缶類、その他のごみに分別した。また分別できない鉄くずやパイプなどを業者会側で処分も引き受けた。NPO法人草津市内業者会では草津市を拠点に建設業にかかわる業者が集まり平成20年6月に設立。市と連携して災害時の緊急出動等の活動、年1〜2回の市内道路清掃活動（不法投棄撲滅運動）、宿場まつりへの協賛や出店参加、市教育事業への寄付など幅広い支援活動、また市内一円の道路パトロール業務の委託業者として活動している。